

まだまだ暴力団は生きている

平成28年 No. 198

暴 追 か わ ら 版

(公財) 青森県暴力追放県民センター
相談電話017-723-8930

～ 暴力団を利用しない! ～

第25回 暴力団追放・銃器薬物根絶青森県民大会の 開催について!!

第25回暴力団追放・銃器薬物根絶青森県民大会が10月27日(木)午後1時30分から、八戸市公会堂にて約700人の参加を得て盛大に行われました。



<青森県民大会>

第1部では、最初に井畑理事長から

「暴力団は年々減少しているものの、全国最大の暴力団六代目山口組が分裂し、対立団体が存在する本県においても、対立抗争事件が発生する可能性がある。また、資金源活動においては、振込め詐欺などの特殊詐欺にも触手を伸ばしているほか、各業界に入り込む隙を狙っている状況である。当センターは、民間の暴排活動の中核として、その先頭に立って関係機関と連携の上、今後とも「3ない運動プラス1」を積極的に推進していくこととしているので、ご協力をお願い致します。」

との挨拶がありました。

続いて、青森県知事代理の青山副知事、青森県警察本部長代理の寺田刑事部長、八戸市長代理の大平副市長から挨拶があり、この後、暴追作品コンクール金賞受賞者、暴排活動功労者等への表彰式が行われました。

第1部の後半には、来賓の青森県県議会議長、青森県公安委員会委員長、青森県弁護士会会長からご挨拶をいただき、最後に浜谷階上町長の力強い「大会宣言」が行われ、第1部を終了しました。

第2部は、「名曲で旅する世界」と題して、青森市在住のバリトン歌手 白岩 貢さ

ん、同じくメゾソプラノ歌手 吉田 信子さん、同じくピアニスト 竹内 奈緒美さんの3人による声楽やピアノソロによるクラシックコンサート、そして警察音楽隊の吹奏楽演奏が行われ、大会は盛況のうちに終了いたしました。来年度は青森市で開催の予定です。



<クラシックコンサート>



<県警察音楽隊&カラーガード隊>

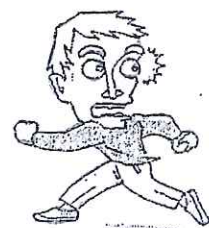
◎ 相談委員の事件簿！！（下調べと準備は大事）

相談委員が昔新米刑事の頃、検察庁から「傷害事件共犯者の逮捕依頼」を受け、先輩刑事とともに逮捕に向かった時のことである。先輩の話を知るとその男の居場所は、女のアパートで「男と面識はないがマルボウであればすぐわかる。」とのこと。

アパートに到着し、出入口にある公衆電話の前にいたステテコ姿の男に女の部屋を聞いた。男は奥の部屋を指して電話をかけ始めた。その部屋の前まで来ると、ガラガラと戸が開く音がして、ステテコの男が脱兎のごとく外に走って行ったのである。

なんかいやな感じがした。思ったとおり、このステテコ男が逮捕依頼を受けたマルボウだったのである。慌てて追いかけたが、後ろ姿さえ見えず、後の祭りである。

ところが先輩は、2日間で男の居場所を見つけたのである。新米の私では頼りないので、もう1人の刑事を助っ人に3人で逮捕に向い男を逮捕した。



<ステテコ男>

教訓として、やはり「事に当たるには準備、下調べが大事」であること。失敗は誰にでもあるが、「二度と失敗しないようにその経験を生かす」ことである。

今は、一見してマルボウだと判った昔と違う。普通のサラリーマン等を装い、あらゆる業界に入り込んで資金源活動をしているのが実態です。ステテコ男もそこらにいる「おっちゃん」にしか見えなかったのですが、暴力団幹部であったのです。

取引など、何事にも「この者は暴力団等、反社会的勢力の者でないのか。その裏にはそのような者がいるのではないか。」など、まずは調査（下調べ）し、相手が暴力団関係者であった場合の対応（準備）を考えておく。常に暴排意識（下調べ、準備）を持つことは大事なことです。